

2025年度「海洋問題演習」Sセメスター実施内容

学問分野横断的な思考の獲得および政策立案・問題解決能力を涵養する応用型の教育科目であり、海洋に関わるさまざまな政策課題への総合的なアプローチを具体的課題に即して学ぶことが目的である。海洋に関わるトピックについて、各分野の研究者及び実務経験者から講師を得て、様々な角度からの議論を展開する。ケーススタディーという形を用いることで、専門の違いにとらわれず、問題解決に必要な知見を駆使して、受講者自らが課題解決の方策・政策を立案することを目指す。

S セメスターは、海洋における地球的問題群の解決に向けた取り組みの中から、「持続可能な海事産業の構築を目指して」「海洋再生可能エネルギー」「カーボンクレジット」「マリンバイオセキュリティ」「海洋における食糧安全保障」「世界にコミットする問題発掘とその具体的対応・国際機関との連携」「文化的側面から見た海洋の捉え方」の7つのトピックを取り上げ、それぞれ学内外から第一人者を招聘して講義形式で進め、A セメスターはいくつかにテーマを絞って議論を中心に演習を進める。

■文化的側面から見た海洋の捉え方

第1回	4月14日	海の人類史 パイオニアたちの100万年 東京大学総合研究博物館教授 海部陽介
-----	-------	---

■持続可能な海事産業の構築を目指して

第2回	4月21日	海図の発展と海洋情報を用いた政策課題解決 海上保安庁海洋情報部情報利用促進科長 山尾理
-----	-------	--

■マリンバイオセキュリティ

第3回	4月28日	防疫の観点からみた水産動物の感染症の特徴と防疫対策 東京大学大学院農学生命科学研究科特任教授 良永知義
第4回	5月12日	真珠養殖における防疫の現状と課題 株式会社ミキモト真珠研究所 橋本直樹 サケ養殖における防疫の現状と課題 株式会社林養魚場 養魚部部長 石田信哉

■海洋再生可能エネルギー

第5回	5月19日	五島市における再生可能エネルギー等の取組 五島市役所総務企画部未来創造課 川口祐樹 浮体式洋上風力発電の商用・実用化 五島ふくえ漁業協同組合 前組合長 熊川長吉
-----	-------	---

■海洋における食糧安全保障

第6回	6月2日	環境変動下における水産資源の持続的利用の確保に向けて 水産庁資源資源管理推進室長 赤塚祐史朗
第7回	6月9日	Global Food Security 安定供給推進機構理事 坂井眞樹

■カーボンクレジット

第8回	6月16日	カーボンニュートラル実現に向けたブルーカーボンの役割と貢献 ジャパンブルーエコノミー技術組合理事長 桑江朝比呂
第9回	6月23日	TOPPAN デジタルがブルーカーボン・クレジット創出に挑む意義と今後の展望 TOPPAN デジタル株式会社事業推進センター地域・防災 DX 推進本部 宮竹哲哉 TCFD/TNFD 開示動向及びブルーカーボンクレジットに係る取組事例 日本政策投資銀行 野上和幹

■世界にコミットする問題発掘とその具体的対応・国際機関との連携

第10回	6月30日	持続可能な開発と海洋環境保全の両立を目指して: 東アジア海域環境管理パートナーシップの事例 東海大学教授 脇田和美
第11回	7月7日	海洋科学に関する国際調整～ユネスコ政府間海洋学委員会の取組み 東京大学 総長特使 道田豊

■海洋再生可能エネルギー

第 12 回	7 月 14 日	『広域産学連携による洋上風力人材育成の動き』～産学連携洋上風力人材育成コンソーシアム(IACOW)等の事例～ 長崎大学海洋未来イノベーション機構 機構長特別補佐 森田孝明 洋上風力開発における漁業協調と地域活性化のむずかしさ 長崎大学客員研究員 清田雅史
--------	----------	--